

公民館からのお知らせ

問 明日香村教育委員会事務局 教育推進課 ☎54-3637

☆飛鳥史学文学講座

【日時】

9月13日(日)13時～15時

【場所】

中央公民館1階 ホール
(〒634-0141 明日香村大字川原91-1)

【講師】

関西大学文学部教授 森部 豊

【内容】

隋唐長安城の都市プラン

—古代日本の都城との比較—

※村内在住の方、関西大学学生、本講座に興味のある中高生は受講無料です。

皆さまのご受講をお待ちしています。

【問い合わせ】 関西大学教育後援会

☎06-6368-0055

公民館クラブと村民の皆さまの短歌

短歌

- ・目と尻尾レタスの葉っぱに張り付いて
水に揺れてるカタツムリの子
勝川 京子
- ・巣立つ日の来ずにカラスが奪い去る
燕親鳥来たりては飛ぶ
井本 智子
- ・紫陽花と斉明天皇目を凝らす
飛鳥の宮跡機械が田植え
松本 義夫
- ・山間にケーナの音色しみわたる
誰が奏でる祈りの滝に
上中 幾代
- ・誘い受け始めた短歌脳活に
認知予防の最妙薬だ
森本 武志
- ・炎天下自然農法菜種刈る
採れる油は僅かなりとか
尾関 常子
- ・そよ風がみどりサラサラこころよし
キラキラ光る葉の表裏
山本 修
- ・古宮の水面を染める夕茜
悠久の地は幽玄の景
豊田 絹代
- ・群青の紫陽花ひとつ垣根越し
ひよこつとのぞく「ここだよ」なんて
田原 隆子
- ・飛鳥川のひっそり残る飛び石が
今につたえる万葉の恋
森本 千鶴子
- ・「世界遺産へ」の幟はためく村役場
巣作り始む燕一族
脇本 雅子
- ・インテリの憶良が弱きものを詠み
貧しきものを詠う尊さ
友田 昌子
- ・朝の陽をあびる牽牛子塚耀けり
ガイド待機も待ち人遅し
田中 祥子
- ・四葩咲く移ろう色を拒まずに
朝のひかりを葉に抱かれて
藤川 幹代
- ・ホトトギスひねもす鳴けりわが村の
鎮めの神のいます森より
米田 郁夫
- ・近ぢかと早苗田にゐる鶴鴒が
白き尾を振る物言ひたげに
米田 靖子
- ・高齢化進み田畑はまっ青に
先行き不安な文月かな
辰巳 陽子
- ・幾年の月日がたてど覚めやらぬ
世界遺産の高松塚や
山本 能世
- ・その昔遺跡こわすな木を切るな
言われし脇本村長の思いは今に
西村 道子
- ・返り咲く白山吹の可憐さに
五月の風がそつとなぜゆく
森田 幸子
- ・田植すみ夜中に鳴くはかえるなり
賑やかすぎて耳もふさぎぬ
吉田 清子
- ・面白き名の半夏生ま白の葉は
誇らしく揺れ笑顔の朝に
脇田 智子
- ・雨曇る日はくぐもれるうぐいすの
梅雨の晴れ間の声澄み渡る
奥 まさみ